

公表 事業所における自己評価結果

公表日 令和治年 2月 15日

事業所名	放課後等デイサービスCONDAU	評議会開催回数	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
職業・体制整備	チェック項目					
	1 利用定員が児童支援室等とのスペースとの競争で適切であるか。	4	2		定期的に配慮を実施しています。	基準は満たしていますが、お子さまの成長と共に競争が激しくなっています。定期的な配慮実施を実施し、スペースの確保に努めています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			基準より多い職員配置を実施しています。	理容師法士、言語聴覚士等、専門職の配置を今後検討していく様、専門性の高い支援が出来るよう検討していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境との適応が適切になされているか。	6			立派なバリアフリーにはなっていないが、中庭側の操作出し窓で対応可能となっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			毎日、清掃、消毒、換気を実施し、過ごしやすい環境作りに努めています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			個室室を改修し個室室(クールダウンスペース)を確保しました。	
	6 営業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			定期実施で従業員責任者のもと、話し合いを全職員で実施しています。	
	7 保護者向け評議会により、保護者等の懸念等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			年に一度、保護者等に保護者向け評議会の実施依頼を行い、業務改善に踏み出していくようにしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			日々、職員が意見を出しやすいようエーディティングや会議等において時間を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	6				法人内で、第三者評価の導入を今後検討していく予定です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内で研修を開催する機会が確実されているか。	6			事業所内で毎月研修を開催し、外部の様々な研修や研修会に参加して機会を確保しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	6			立派への掲示、ホームページに公表しています。	
	12 毎々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			定期的、計画実施時にアセスメントを実施し、課題の分析を行なうサービス計画の作成に努めています。	
	13 放課後等デイサービス計画は、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの立場に関する職員が共通理解の下で、こどもの品質の利益を考慮した検討が行われているか。	6			全職員で、支援議論を実施し計画作成に努めています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			全職員で、支援議論の際に共有を実施しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			アセスメントシートを用いて、日々の行動観察等は、支援記録用紙(ケース記録)に記録しています。	
	16 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき実質」の「本人支援」、「家庭支援」、「旅行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの立場に必要な品質が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			5地域を踏まえ、フィードバックから保護者様の要望も踏まえ、職員間で共有し、支援内容に活かしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			日々、全職員で話し合い、検討して計画を立てています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			リーダー割り当てなし、リーダーが中心となり、活動固定化しないよう意見を出し合い協力しながら活動プログラムを考えています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			ひとり一人に合わせ、個別活動の提案、小集団での活動を組み合わせた計画の作成、支援を実施しています。	
	20 支援開始前に職員間で必ず会合を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			毎日ミーティングを行い、前日の振り返りや当日の流れ、活動内容、役割分担を行っています。	
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			終了後のミーティングは毎日実施ですが、毎日の会のミーティングにて実施しています。	
	22 日々の支援に関する記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			支援終了記録に、日々の記録をとり、西面に実施しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	6			定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行なっています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6				地域交流の機会の提供の機会を増やしていくよう努めています。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			職員が、意思決定支援の研修を実施する等、お子さまが自己決定、意思決定をしていくよう支援の工夫・配慮をしています。	
	26 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や脳力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				様々な関係機関と連携していく様に検討しています。
	28 校舎との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡窓口（迷惑時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか。	6			定期的に学校との情報共有を実施しています。	
	29 就学前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			児童発達支援からの連絡を頂いています。	
	30 学校や卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5			現在まで該当者がいらっしゃいませんが、今後移行が生じた際には情報提供を実施していく予定です。
保護者への説明等	31 地域の児童発達支援センターとの連絡を取り、必要等に応じてスパークバースや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6				今後、必要に応じて助言・研修受講の機会を検討していきます。
	32 放課後児童クラブや児童園との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6				児童クラブとの交流は難しいですが、近隣の他事業所(保育園)との交流を検討しています。
	33 《自立支援》協議会等へ積極的に参加しているか。	6			開催日には、可能な範囲で参加をしています。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			保護者様、お迎え時や送迎時、連絡帳を通して情報交換を実施しています。	
	35 家族との対応力の向上を図る観点から、家庭に対して家族支援プログラム（バートレット・トレーニング等）や講座等の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	4	2		外部の研修についてお取りり、玄間に掲示する等で情報提供を行なっています。	事業所での研修等は現在実施出来ていませんが、保護者アンケートを実施し今後実施を検討しています。
	36 通常会議、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか。	6			契約時に、保護者様と書面の読み合わせを実施し、説明している様です。	
	37 放課後等デイサービス提供作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの個別の利害の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を確認する機会を設けているか。	6			画面の間に、保護者様のご意向、思いをお伺いしています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			個別支援計画書の説明、保護者様の同意を得ています。	
	39 家族から子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	6			必要に応じて、面談の機会を確保しています。	定期的に面談の機会を確保していく様に検討し、必要に応じて関係機関との連携に努めています。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設けるの支援をしているか。	2	4		毎月一度、保護者様、ご家族参加型の夏祭りを実施して、交流の場を確保しています。	毎年、公の会、保護者様は設置していませんが、今後保護者様のご意向に配慮しながら、必要に応じて検討していきます。
事業等の対応	41 こどもや保護者からの苦情について、家庭内紛争を踏まえ、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				苦情があった場合には、苦情解決責任者を中心として、直面したご意見は全職員で周知し、迅速に対応致します。
	42 定期的に通報等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する機会を設けています。	6			通報を4回/年 インスタグラムにて情報を発信しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分細心しているか。	6			開けき情報で保管し、取り扱いに留意しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				お子さまや保護者様に配慮した、情報伝達を心がけています。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	6			招待は現時点では実施出来ていませんが、近隣住民の会の協力と、収容課を実施する機会が出来ています。	今後、事業所の行事を検討していく様に検討していきます。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、熱射病マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			全てのマニュアルを作成し、職員間で確認、訓練の実施に努めています。保護者様には、契約時に説明、個人用にファイリングして頂いています。	
	47 営業統計計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、教示その他の必要な訓練を行なっているか。	6			年に一回以上、業務統計計画のBCPを作成し、訓練を実施し、計画の見直し・修正を実施しています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			契約時に、保護者様より確認の状況を確認し、変更が生じた場合には確認を行なっています。	
	49 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指導書に基づく対応がされているか。	4	2		契約時に、保護者様よりアレルギー調査表を記載いたしました。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全計画を作成し、安全管理に定めた研修・訓練を実施し、見直しを行なっています。	
その他	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく指導内容について、事業所等へ周知しているか。	6				今後、保護者様にもご協力ををお願いし引き渡し訓練、連絡訓練等対応していく予定です。
	52 ニヤリバットを事業所内で共育し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			事業所内での内部研修に加えて、外部の虐待防止研修に参加しています。	
	53 惡意を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			やむを得ず虐待実施のお心を実施しなくてはならない場合には、保護者様への説明・同意・個別支援計画書への記載、記録の確認に努めています。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				